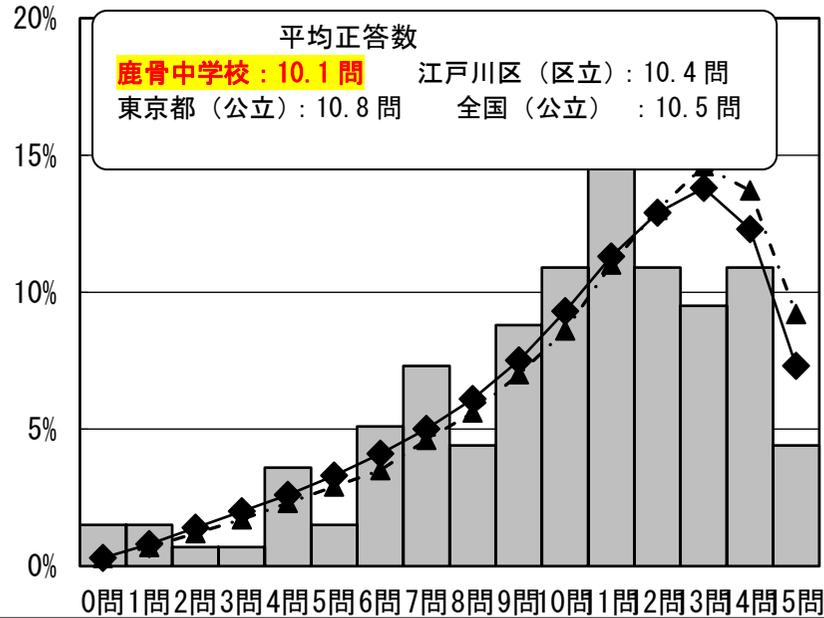


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 鹿骨中学校

正答数分布



＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

上位 ← → 下位

国語	A層 13～15問	B層 12問	C層 9～11問	D層 0～8問
鹿骨中学校	24.8	10.9	26.6	26.3
江戸川区（区立）	32.1	12.9	29.7	25.3
東京都（公立）	37.5	13.0	26.6	22.9
全国（公立）	33.4	12.9	28.1	25.6

【平均正答率の差】

鹿骨中学校	67%
江戸川区（区立）	69%
東京都（公立）	72%
全国（公立）	69.8%
都との差	5ポイント

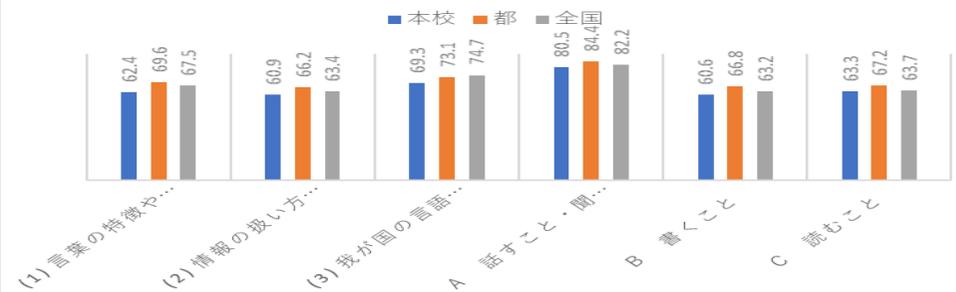
【分析結果と授業改善に向けて】

平均の正答率では、都平均を5ポイント下回った。特に、言語の特徴や使い方に関する事項、情報の取り扱い方に関する事項、書くことは、都平均より6ポイント以上下回っている。基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、それをもとに日々の授業を通して、思考力・判断力・表現力を伸ばさせることが必要である。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果

学習指導要領の領域



評価の観点

